

平成27年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市岩崎地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

担当地域は14町6地区連合町内会と広域であり、人口50,000人強、65歳以上の人口が11,000人強であり、高齢化率は22.82%となっています。また市営・県営・UR住宅が多く、高齢者向け住宅も増えています。また地域で活躍されている役員等が減り、次世代の担い手が少ないため、今後の自治会・町内会活動に影響が考えられます。

このような状況を踏まえ、ケアプラザとして相談には迅速・丁寧に対応し、積極的に訪問を行う体制づくりに努めてまいりました。

各地域で様々な課題はありますが特に高齢化率の上昇、高齢者単身世帯の増加により今まで以上に地域支援が必要とされている現状の中、地域との顔の見える関係づくりの強化・関係機関との連携強化を図りました。また同時に地域福祉の推進において重要な役割を果たしている地域住民を主体とした取組やグループ活動等が、地域の中に広がるよう支援し、高齢者を地域で支えるコミュニティの構築を推進しました。各団体等が地域の資源と課題を共有し、有機的な連携が図れるように支援しました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・施設を快適に安心して利用していただけるよう、毎月の施設点検日(第4月曜日)に館内清掃・電気設備・空調設備、自動ドア・エレベーター等の保守点検を定期的に行いました。
- ・上記以外に法令、規則等で定められている保守点検である消防設備・害虫駆除等を適切に行いました。
- ・建築基準法12条に基づき、自主点検により破損・汚損の発見に努めました。また、横浜市(委託点検業者)による「公共建築物劣化調査・点検」を実施しました。
- ・各点検にて不具合が確認された場合は、区に報告し修理を行いました。
- ・施設周辺の清掃、植栽などの環境美化に関しては、職員及びボランティアの協力により実施管理しました。
- ・館内の清掃、消耗品の補充・管理は、職員により日々実施しました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ケアプラザとして4部門（地域包括支援・地域活動交流・居宅介護支援・通所介護）が連携することにより、様々な地域のニーズ・地域における子どもから高齢者・障害者などのニーズを把握し、解決に向けた事業展開を図りました。
- ・所内回覧、朝ミーティング・各部門での会議・運営委員会・職員会議等をとおして職場内での情報共有を図りました。特に地域へ向けた事業等は地域包括支援・地域活動交流で共催にて実施しました。
- ・職員、利用者に年間の光熱水使用状況を広報し、エネルギー資源の節減、プラスチック・紙資源のリサイクル等に取り組みました。
- ・施設運営に関しては、法人本部と連携して業務分担を行い、事務作業の効率化・物品購入等のコスト削減を図りました。
- ・地域との信頼関係が保てる安定した職員体制の維持・継続を図りました。

ウ 苦情受付体制について

- ・利用者等から申し出があった場合、その解決のための体制・方法を定め、苦情等を放置することなく、公平・中立な立場から迅速かつ適正な解決を図りました。他事業所に対する苦情が1件あり、責任者による早期対応・早期報告の実施をしています。
- ・苦情の受付担当者、責任者、第三者委員を館内に掲示しています。
- ・ご意見箱を常設し、ご意見、苦情をはじめプラザに対しての申し出をしやすい場所である2階ロビーに設置しています。
- ・ご意見、苦情等の記入用紙を部屋利用時に使用する各利用団体登録ファイルに添付しています。
- ・職員会議等において、ご意見・苦情の受付について報告し、利用者からの日常生活における身近な疑問、気にかけていることや、プラザの施策に対する要望等の情報共有を図りました。
- ・年1回利用者アンケートを実施し、結果及びご意見等を閲覧として配架しています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・万が一の災害の発生に備え、マニュアルの整備・緊急時の対応について日頃より意識の向上を図り、常に緊急時の対応ができるように努めました。
- ・近隣地域の防災訓練・防災拠点での訓練に参加することにより、地域との協力体制が取れるよう関係づくりに取り組みました。
- ・消防計画に基づき年2回以上、貸し館利用者・通所介護利用者も参加し、避難訓練・消火訓練・通報訓練・AED取り扱いなどの訓練を実施しました。
- ・特別避難場所として、要援護者の受け入れをおこなうための備蓄物資の管理を行っています。また、近隣の方への周知を行うため、館内に特別避難場所の説明及び備蓄物資一覧を掲出しました。
- ・災害時の連絡手段を確保する為に、携帯電話の災害時優先電話を用意しています。
- ・開館、閉館時には職員が館内外の異常有無の点検を行っています。
- ・閉館後は機械警備にて館内の防犯を実施しています。また隣に公園がある為、近隣の交番にパトロールなどの協力をお願いしています。
- ・閉館時など緊急・災害時には、緊急連絡網により職員間で連絡が取れる体制を整えています。

オ 事故防止への取組について

- ・ 日常業務にてヒヤリハット・事故が発生した場合、速やかに上長へ報告し、事故再発防止にむけて、毎月実施している事故予防対策委員会にて対処策の検討を行いました。
- ・ 年1回設備・職員の業務姿勢などについて全職員を対象にヒヤリハットアンケートを実施し、全体職員会議で結果報告を行い、事故予防の意識を共有化しました。
- ・ 通所介護事業課に関しては、朝、夕にミーティングを行い、利用者情報を共有すると共に事故が発生しないよう処遇の確認を行い、事故防止に努めました。
- ・ 万が一、事故が発生した場合は、速やかに所轄する行政に報告しています。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 全体職員会議において、個人情報の取り扱いについての研修を実施しました。
- ・ 個人情報取り扱い自己チェックアンケートを実施し、集計結果を基に各部門で再度検証し、意識の向上と注意喚起を図りました。
- ・ 個人情報の含まれた書類・ノートパソコンは鍵の付いた書庫に保管しています。
- ・ 個人情報を FAX する場合は、マスキングを実施し送信先は2人で確認、郵送の場合は、郵送先の確認・内容の確認・封入作業まで2人で確認を行っています。
- ・ 通所介護事業課に関しては、連絡帳は袋・内容物・カバンを2人で確認後に返却し、請求書などは基本的に家族様へ手渡しとしています。
- ・ 万が一、個人情報漏洩に関する事務処理ミスが発生した場合には、速やかに所轄する行政へ報告しています。

キ 情報公開への取組について

- ・ 基本的に個人情報以外の情報以外は公開するという姿勢で事業を行いました。
- ・ ケアプラザの情報は、広報紙「星」・保土ヶ谷区の広報・ほっとなタウンマップ・自治会の掲示板等を活用し、地域住民の方へ情報提供をしました。
- ・ その他の情報公開として、事業計画・事業報告・決算書・利用者アンケート・介護保険関係の契約書、運営規定等も公開しています。
- ・ 法人のホームページでは、関係施設の決算書などの公表も行っていきます。
- ・ 介護サービス情報の公表においては、本年度も調査を10月に実施し通所介護・居宅介護支援の情報を公表しています。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ・ 横浜市で作成した「地域ケアプラザ省エネ運用マニュアル」に基づき、節電対策として、冷房28℃暖房20℃の適正設定、不要な照明の消灯・抜去、パソコン・FAX等使用しない時は電源を落とす又は省エネモード設定を実施し、待機電力の管理を実施しました。
- ・ ごみゼロ推進員を職員より選出し、ごみゼロルート回収の手引きに基づいたゴミの分別・リサイクルを行い排出量削減に取り組みました。また、紙資源の有効活用として、両面コピー・裏紙利用にも取り組みました。
- ・ ペットボトルのエコキャップ事業にも取り組みました。(過去通算 403,637 個)

介護保険事業

◆介護予防支援事業

職員体制	
・ 管理者	1 名（常勤兼務）
・ 看護師	2 名（常勤兼務 1 名、非常勤兼務 1 名）
・ 主任介護支援専門員	1 名（常勤兼務）
・ 社会福祉士	1 名（常勤兼務）
・ 介護支援専門員	1 名（常勤兼務）
・ 事務員	1 名（非常勤）

目標に対する取組状況
<p>要介護認定の結果、要支援 1, 2 と認定された方への介護予防ケアプラン、平成 28 年 1 月からは介護予防ケアマネジメントケアプランを作成するとともに、地域のケアマネジャーさんに予防介護支援及び介護予防ケアマネジメント業務を委託し、ケアプラン等への助言、確認をしてまいりました。利用者の主体的な目標設定により支援計画を作成するとともに、目標達成に向けた給付サービスを利用することで、住み慣れた地域の中で、ご本人らしい生活の維持・向上が図れるよう支援してまいりました。</p> <p>又、地域のケアマネジャーさんとともに介護予防ケアマネジメント（総合支援事業）へのスムーズな移行を図ってまいりました。</p>

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）
担当地域を越える地域に訪問などを行う場合の交通費（公共交通機関の料金）

その他（特徴的な取組、PR 等）
<p>3 職種、プランナー及び関係機関と連携を図りながら適切なプランを作成しました。</p> <p>必要に応じて、インフォーマルサービス、地域資源の活用なども取り入れたプランを作成しました。</p>

利用者実績（単位：人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
293	300	311	313	317	325
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
320	324	323	318	321	316

◆居宅介護支援事業

職員体制	
・ 管理者	1名（常勤兼務）
・ 主任介護支援専門員	3名（常勤専従） 1名（常勤兼務）

目標に対する取組状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅サービス計画書の作成に当たり、利用者の心身の状況・生活環境などに応じてご本人が、自立した生活が送れるように、関係機関と連携を図りながら適切なプランを作成しました。 ・ 利用者、家族様への丁寧な対応を心がけ、信頼できる事業所を目指しました。 	

実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）	
実費負担はなし。	

その他（特徴的な取組、PR等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定事業者加算Ⅲを算定、また主任介護支援専門員を3名配置しました。 ・ 地域包括支援センターと連携し、困難ケースへの対応に取り組みました。 ・ 24時間の連絡体制を取り、夜間の利用者からの相談・連絡を受け付けました。 	

利用者実績（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
107	106	106	103	102	98
10月	11月	12月	1月	2月	3月
99	97	101	98	97	95

◆通所介護事業

提供したサービス内容

- 食事
- 生活リハビリ
- 入浴（希望者のみ）
- 個別機能訓練（希望者のみ）

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

- 1割負担分
 - （要介護1） 703円
 - （要介護2） 830円
 - （要介護3） 962円
 - （要介護4） 1094円
 - （要介護5） 1226円
- 食費負担 800円
- 入浴加算 53円
- サービス提供体制加算 19円
- 個別機能訓練加算 60円
- 中重度者ケア体制強化加算 48円
- 介護職員処遇改善加算 総単位数の10000分の22に相当する単位

事業実施日数、提供時間

- 事業実施日数 週 7 日
- 提供時間 9:00~17:00

職員体制

- 管理者・・・・・・・・・・1名
- 生活相談員・・・・・・・・4名
- 介護職員・・・・・・・・15名
- 看護師・・・・・・・・・・5名
- 運転手・・・・・・・・・・1名
- 栄養士・・・・・・・・・・1名
- 調理員・・・・・・・・・・5名

目標に対する取組状況

ご利用者の人数の安定を図り、安定した運営が行えるようにしました。また、ご家族・ご本人様の要望から、臨時でのご利用に対して積極的に受け入れを行いました。ご利用者様の状態を把握し、介護支援専門員や他事業所と綿密に連帯を図り、心身共に安定した在宅生活が行えるようにサービスを提供いたしました。また平成27年9月より個別機能訓練を開始し、希望者対象にご家族・ご本人様の要望に対し個々の目標を立て、それに沿ったプログラムを個別に実施いたしました。

その他（特徴的な取組、PR等）

天井が高く広々とした空間の中に窓が多くある為、明るくアットホームな雰囲気味わえます。行事等も広いスペースを利用し、盛大な雰囲気の中で行います。食事は全て当施設で直接仕入れた新鮮な野菜・肉・魚を使用し、季節感を味わえるようなメニューで冷凍食品は使用しておりません。数種類の出し汁を使用し、手間隙掛けた料理を提供しております。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
683	723	725	710	692	659
10月	11月	12月	1月	2月	3月
690	611	577	547	611	654

◆介護予防通所介護事業

提供したサービス内容

- 食事
- 生活リハビリ
- 入浴（希望者のみ）

実費負担（徴収した項目ごとに記載）

- 1割負担分
 - （要支援1） 1765円
 - （要支援2） 3620円
- 食費負担 800円
- サービス提供体制加算
 - （要支援1） 77円
 - （要支援2） 154円
- 介護職員処遇改善加算 総単位数の1000分の22に相当する単位

事業実施日数、提供時間

- 事業実施日数 週 7 日
- 提供時間 9:00～17:00

職員体制

- 管理者・・・・・・・・・・ 1名
- 生活相談員・・・・・・・・ 4名
- 介護職員・・・・・・・・・・ 15名
- 看護師・・・・・・・・・・ 5名
- 運転手・・・・・・・・・・ 1名
- 栄養士・・・・・・・・・・ 1名
- 調理員・・・・・・・・・・ 5名

目標に対する取組状況

ご利用者の人数の安定を図り、安定した運営が行われるようにしました。また、ご家族・ご本人様の要望から、臨時でのご利用に対して積極的に受け入れを行いました。ご利用者様の状態を把握し、介護支援専門員や他事業所と綿密に連帯を図り、心共に安定した在宅生活が行えるようにサービスを提供しました。

その他（特徴的な取組、PR等）

天井が高く広々とした空間の中に窓が多くある為、明るくアットホームな雰囲気味わえます。行事等も広いスペースを利用し、盛大な雰囲気の中で行います。食事は全て当施設で直接仕入れた新鮮な野菜・肉・魚を使用し、季節感を味わえるようなメニューで冷凍食品は使用しておりません。数種類の出し汁を使用し、手間隙掛けたお食事を提供しています。

利用者実績（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
74	77	78	76	78	86
10月	11月	12月	1月	2月	3月
87	78	66	61	71	83

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

地域の中で身近な相談窓口・福祉保健活動の拠点として、自主事業・会議・講座等の様々な場面で相談・情報提供を実施し、地域との信頼関係に努めています。特に声が届きにくい地域へ積極的に出向き必要な情報提供を図っています。また関係機関と密に連携を図り地域で支えられる体制の強化を図っています。特に四職種が協働にて地域で安心して暮らせる支援に努めています。今後は認知症SOSのネットワーク構築を進めていく必要があります。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

四職種の専門性、相互協力による連携を密に図り、地域の情報から支援方法を情報共有し自主事業の共催に努めています。特に事業の評価等の実施より、より効果的な事業の取り組みに努めています。

今後は地域連絡会・地域ケア会議を通じて地域と協働にて地域の活性化を図っていく必要があります。

3 職員体制・育成

安定した業務運営のために適切な人員配置・適材適所を行い、維持に努めています。また個々の資質の向上が図れるように研修会等への参加、情報交換等の場を設ける等の育成を図っています。特に職員が働きやすく、誇りを持って仕事に取り組む事ができる環境整備を目指しています。

法人全体の研修会等にて情報交換の機会を設けました。また年1回以上の職員意向調査の実施をしています。

今後も法人全体で職員の確保、環境整備を図っていく必要があります。

4 地域福祉のネットワーク構築

地域住民・行政・関係機関等の地域全体で顔が見える関係づくりができるよう地域のネットワーク構築をしています。特に地域で見守りという共通のテーマによる共助体制の強化を図っています。

地域のニーズに合った講座等を実施し情報の交換・共有化を図り信頼関係の構築を図る。また防災・防犯対策の推進等により、地域の方と一緒に安心なまちづくり、災害時の避難支援体制の確保等の取組を進めています。

認知症の方に限らず地域の中で見守りの必要な方への支援を地域の方と一緒に進めています。

今後もできるだけ多く、地域の会議等に出席し地域の特性に合わせた支援を行っていく必要があります。

5 区行政との協働

区行政・区社会福祉協議会と協働にて地域の特性を把握し、地域ごとの必要なテーマにて効果的な関係づくりと信頼関係を構築しています。

地域との関係づくり、行政との連携を深め、地域に根付いたケアプラザであるよう地域の状況把握、必要な支援を実施していくと同時に、所内での情報共有を図っています。また地域の発展のために積極的に意見を述べています。

今後も積極的に行政と連携を図り地域の安全と安心して暮らせるまちづくりを進めていく必要があります。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域包括支援センターの職員と連携を取りながら、支援チームおよび各地区の策定委員会等にはある程度万遍なく出席することができました。

次年度に向けては会合などに出席することで得ることが出来た情報の整理を各地区の状況を踏まえて実施し次にどう繋げていくかが課題として残りました。

また、「地域での見守り」というテーマで地域連絡会を開催し、当施設の職員や地域活動を行われている各地区の民生委員さん及び事業所の方との関わりの中での情報共有ができたのではと思っております。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

・プラザの紹介やプラザにどんな機能があるのかというお話は地域の方の活動の場にお邪魔をし、お話しすることはできましたが、遠方の方向けの事業を含めた場の提供は現在まで実施できていません。

・夜間利用については前年度に比べて横ばいでした。また 15:00 から近隣の方向けの事業を企画し実施をしたが、参加者も少なかったのが現状です。

・3月に部屋利用説明会を実施します。貸室の説明はもちろんですが、夜間の稼働率向上の為にも改めて周知していこうと考えております。

3 自主企画事業

地域包括支援センターとの共催事業に関しては5事業開催することができました。前年度同様、活動団体の支援・サポートおよび自主グループ立ち上げも1つの目標に活動をしてきました。今年度は自主事業から現活動団体への移行が1件。新規グループ立ち上げを2件行うことができました。

また、自主事業のバランスが偏ることが無い様、子育て、高齢、障がいなど万遍なく事業が実施できるよう企画・運営をするということを目標に掲げ、地域交流会議の中で進捗状況等の確認を常に意見交換しながら実施していくことができました。次は事業の展開について「地域のためになる事業」を目標にし、事業を行って終わりではなく、事業を行って次にどう繋げていくかという視点を大切にしながら検討していく必要があると感じております。

8月には他機関との共催の障がい児余暇支援事業である「ほっとフレンズ夏」や、11月に実施した「プラザまつり」では地域の方々のご協力を得ることが出来、実施することができました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

登録に来ていただいた方の声で「気持ちはあるがボランティア登録するまでのハードルが高い」という声をいただきました。

その点を踏まえながら、ケアプラザ内はもちろんのことケアプラザ外や地域で活躍してもらえるボランティアさんの発掘において「シニアボランティア登録研修会」の実施を2月に予定をしており、高いハードルを低くする事の足掛かりになるのではないかと考えております。

また、区域レベルで活動をしている方や活動をしてみたいと思っていた方たちをボランティアセンターや区内の他 CP と連携を取る事により受け手として活動の場の提供をすることができました。

課題としては、活動して頂いている方たちの横の繋がりをどう構築していくかになります。

引き続き、ボランティア交流会の実施なども検討していきます。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・今年度は地域の自治会、民児協などの要請を受け、健康や介護予防、認知症、地域ケアプラザの説明など3職種が分散して講座などを実施してきました。その中で顔の見える関係を更に進め相談しやすい環境づくりに努めています。その結果、各地域の民生員さんからの情報提供や同行訪問などを行い、適切な支援に結びつけていくことも多くありました。
- ・緊急事態を要する相談も区と連携し迅速に対応させていただくことができました。
- ・困難事例と思われるケースも区のカンファを通し継続的なかわりと役割分担をしながら連携し、ケースに対し継続的な関わりをもつことで支援に結びつけていくことが出来るなど、良い連携を行うことができました。
- ・出張相談に関して、今年は次年度の事業につなげるために、定期的で開催されている地域のサロンに、定期的に訪問し気軽に相談できる環境をいかにつくるかを検討してきました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・今年度も、地区社協、民児協、老人クラブ等、地域の会合、サロン、夏祭り等の地域事業に出席させて頂くとともに、ほっとなまちづくり事業にも積極的に関わり、顔の見える関係作り、地域のネットワーク作りの構築を図って来ました。又、個別の相談支援を通じて、区、医療機関、介護保険サービス事業者、区社協、民生委員等地域関係者と連携しながら解決を図ることにより、地域の支援ネットワークもより広がっています。
- ・包括及び地域交流と共同で、地域の民生委員、事業者等に参加して頂き、「地域連絡会」を2回開催（内1回は、2月に開催予定）しました。1回目の地域連絡会では、見守りSOSネットワークの構築に向け地域の方々が考える見守りSOSネットワークについて意見を頂きました。2月の地域連絡会では、区で作成されたみまもりSOSネットワークの冊子をもとに、具体的な事例を使い、検索まで行かないようにするための普段の関わりや実際に近所の認知症の方が徘徊してしまったら自分ができるように動けばよいか等検討して頂き、来年度にはSOSネットワーク立ち上げて行きます。
- ・地域ケア会議につきましては、現在1回の開催のみですが、地域のケアマネジャーより相談のあった事例で開催しました。地域の民生委員、区、社協、訪問診療医、事業者等の関係者・関係機関等幅広く参加して頂き、ネットワークの拡大を図るとともに地域のニーズや今後必要な社会資源は何か等検討してまいりました。今年度中にもう1回地域のケアマネジャーより相談いただいている事例で高齢者と障害者のご夫婦の在宅生活（地域での見守り等）について開催を予定しております。
- ・今年度も引き続き地域活動交流とともに、ほっとなまちづくり事業に参加し、地域の情報、課題を共有する為の支援ネットワークを構築して来ました。

実態把握

- ・プランナー含め包括3職種と地域交流コーディネーターを交えた4職種会議、区、区社協とのカンファレンス及び随時包括内で行われるカンファレンス、地域連絡会、ケアマネ連絡会、ゆったりサロン（介護者のつどい）、地域の集まり等で各地域の実態を把握して来ました。認知症、若年性認知症、精神疾患の方が多くいらっしゃいますが、当事者とともに介護者（家族）等が集まる場所（地域のカフェ、サロン等）がないこと、又、山坂が多く買い物等の外出が難しい等が課題であることが再確認

出来ました。今後は、地域にある資源の支援とともに認知症カフェやサロンの立ち上げ支援を行えたらと思っています。

- ・ SOSネットワークについて、地域連絡会で地域の方に意見を頂きましたので来年度から実施して行きます。

2 権利擁護

権利擁護

- ・ 成年後見を絡めた講座を地域に向けて行うことができました。また身近なところから、岩崎地域ケアプラザの全職員にむけた権利擁護の研修発表をさせていただき、職員に対しての普及啓発をさせていただきました。
- ・ 成年後見に制度に関する相談や後見の必要性のあるケースから実際に3件のケースが成年後見に結びつきました。
- ・ 成年後見サポートネットにおいて他職種に向けた啓発を行いました。またその中で地域にある福祉施設の成年後見制度に関する実態や意識を把握することができました。
- ・ 今年度は消費者被害や権利侵害の部分での普及啓発が出来ていないので次年度には出張講座、地域のサロン、老人会等に参加し都度紹介していきます。

高齢者虐待

- ・ 介護者のつどいを9回開催し、それぞれテーマを決めて座談会を中心に取り組みました。会を重ねるごとに参加者同士がお互いに話をする様子が見られるようになりました。あわせて参加されている方の悩みなどを、個別相談で対応いたしました。
- ・ 12月に介護者のつどいでミニコンサートを開き、介護者のつどいの目的などを今まで参加されたことの無い方に周知させて頂きました。
- ・ 研修等において高齢者虐待の指針などを学ばせて頂き、実際のケースにその視点等を持ちながら、各職種が個別ケース対応して行きました。
- ・ 高齢者虐待について来年度はケアマネ連絡会等で講座を開催しようと思います。

認知症

- ・ 認知症サポーター養成講座を岩崎キャラバンメイトとともに年度内5回の開催を予定しています。エリア内の連合町内会6箇所に「講座開催の申込書」を配布しました。2箇所の地区からの要望があり、講座開催を行いました。また、地域行事（本陣フレンドシップデイ）でも認知症に対する理解の普及啓発を行いました。
- ・ 岩崎SOSネットワークに関しては区の作成していた「保土ヶ谷区みまもりSOSネットワーク」に連動させ、地域の住民が誰が見てもSOSネットワークが何かを知っていただくようにいたしました。
- ・ 「岩崎エリアみまもりSOSネットワーク」を地域連絡会において地域住民への説明を初め、次年度より徘徊時の協力事業所を募っていくことを課題としています。
- ・ 認知症を伴った個別ケースに関し、区や事業所、地域の連携を伴った支援を多く行い、また地域ケア会議や担当者会議などをおこなってきました。増えゆく認知症を伴った個別ケースを、地域を含め様々な機関と連携することで今後も対応を図っていきます。更に次年度は総合的な分析をおこなうことが課題です。
- ・ 区内包括支援センター、区役所、区社協とともに認知症講座を近隣の病院で開催いたしました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

健康教育講座やイベント開催、出張講座時にチェックリストを配布し二次予防対象者を把握していきました。該当者には個別指導を実施したり、サークルを案内してフォローしていきました。

地域交流と連携してエリア内の介護予防関係の資源の把握に努め、情報を共有していきました。運動や認知症予防関係はある程度の量がありますが、栄養改善、口腔ケアに関する資源が足りないことが今後の課題になります。

介護予防ケアマネジメント力

- ・ 新任ケアマネ研修で介護予防ケアマネジメントに関する講義を行い、自立や予防の視点についての啓発を行いました。また、区・地域交流と共に地域のインフォーマルの整理を行いました。今後はその情報をケアマネジャーが活用できるように提供し、介護予防の啓発を実施していきます。
- ・ 3月14日に部屋利用者説明会で介護予防について話をしていきます。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 引き続き、総合相談に対し必要に応じ地域の民生委員や区と連携しながら早急な対応支援を行ってまいりました。各地域の民生委員からの独居見守り中の心配な方の相談時は、敏速に対応し相談結果を相談者にフィードバックすることで、地域連携を図ってまいりました。又、独居の方の家族やケアマネジャーからの相談があった際に、個人情報に気をつけながら、必要に応じ民生委員に連絡を取り情報を共有するとともに共に対応していけるよう調整してまいりました。上記により、常に民生委員の方々と連携が取れより連携が強化されて来ています。
- ・ 地域ケア会議につきましては、地域で課題になっている独居の認知症高齢者について、往診医、民生委員、アパートの大家さん、事業者、ケアマネジャー、区役所、区社協の方々に参加して頂き地域住民、関係機関との連携を図って来ました。又、地域ケア会議で検討したことについて、同様の課題がある地域へ地域連絡会や民児協等で情報提供をして来ました。
- ・ 地域交流事業と共同で地域の民生委員やボランティアさん、サービス事業者の方、ケアマネに参加して頂き地域連絡会でSOSネットワークについて情報交換を実施し連携を強化して来ました。今後、実際に運用しながら、上記の方々と連携し意見をお聞きしながらよりよいSOSネットワークの構築を進めていきます。
- ・ 各地域の民児協、サロン、行事、出張講座等で、聞き取り調査やアンケートを実施しその中で地域のニーズを把握、講座や地域のインフォーマルサービスの情報交換をし、その後講座等の依頼があった際、講座の内容等の参考にして来ました。

医療・介護の連携推進支援

- ・ 町の医療機関への個別訪問は出来ませんでした。お客様との同行受診は必要時同行させて頂きました。又、保土ヶ谷区在宅医療相談室の事例検討会、地域密着型サービス事業所の医療連携推進会議に参加し、保土ヶ谷区医師会の主な先生方にご挨拶できました。今後、地域ケア会議、ケアマネ連絡会への参加を依頼して行こうと思います。
- ・ 区内合同ケアマネ連絡会では、2月に多職種連携として、保土ヶ谷区医師会の先生方、保土ヶ谷区歯科医師会の先生方、保土ヶ谷区薬剤師会、病院相談室のMSW・CW、ケアマネジャー、保土ヶ谷区デイサービス連絡会、保土ヶ谷区訪問介護連絡会の方々にご参加頂き、事例検討会とともに意見交換情報交換の機会をもちます。

- ・岩崎地域ケアプラザのケアマネ連絡会で、エリア担当医師を招いて医療との連携について日頃感じている事等意見交換、情報交換して頂きました。
- ・地域連絡会にエリア担当医師にも参加頂き、地域の方々やケアマネジャー、サービス事業者の方と意見交換、情報交換して頂きました。

ケアマネジャー支援

- ・多問題ケースを抱えるケアマネジャーからの相談に対し、助言、緊急対応、担当者会議開催支援などの支援を行って来ました。その中から、地域ケア会議の開催につなげ地域の課題の発見、地域のニーズや今後必要な社会資源は何か等の検討につなげて来ました。
- ・地域ケア会議を2回（内1回は1月頃）開催
- ・区内7包括合同ケアマネ連絡会を8回（内1回はH28.1月）開催して来ました。又、岩崎地域ケアプラザ単体でエリア担当医師及び相談員に参加頂き医療との連携（日頃のケアマネ業務のなかで医療関係者との連携、特に医師との連携で感困っていることや感じていること等）について、情報交換の機会をもって頂き地域のケアマネジャー同士、又訪問診療事業者と顔の見える関係作り、連携強化を図ってきました。来年度は、1医療機関だけでなく町の医療機関の先生方も呼び寄せて介護と医療の連携を図っていきたく思います。
- ・区内7包括で新任・就労予定ケアマネジャー研修を実施し、その中で岩崎地域ケアプラザ包括看護師が予防ケアプランについての研修を実施しました。
- ・地域の居宅介護支援事業所を訪問又、ケアマネジャー来所時にケアプラン等支援で困っていること等についてお話をお聞きし連携を図って来ました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・地域交流事業と連携し地域連絡会を2回×2（地区連合別に2回に分けて）開催（2回目は2月開催予定）。多職種（介護事業者、医療機関：医師・相談員、民生委員、ボランティア等）との連携を図るとともに今年度はSOSネットワーク構築に向け情報交換を実施し連携を強化して来ました。
今後、実際に運用しながら、上記の方々との連携し意見をお聞きしながらよりよいSOSネットワークの構築を進めていきます。
- ・現在1回の開催のみですが、地域ケア会議で、地域のケアマネジャーより相談のあった事例で開催しました。地域の民生委員、区、社協、訪問診療医、事業者等の関係者・関係機関等幅広く参加して頂き、ネットワークの拡大を図るとともに地域のニーズや今後必要な社会資源は何か等検討してまいりました。今年度中にもう1回地域のケアマネジャーより相談いただいている事例で高齢者と障害者のご夫婦の在宅生活（地域での見守り等）について開催を予定しております。
今年度は現在のところ1回のみ開催ですが、岩崎地域ケアプラザ単体でエリア担当医師にご参加いただきケアマネ連絡会を開催し地域のケアマネジャーとの連携を図って来ました。今後も、他の医師や病院相談員等にも参加して頂ければと思っています。

介護予防事業

介護予防事業

ほっとなまちづくりや民児協、地区社協の定例会、地域の活動に保健師とコーディネーターで積極的に参加して情報収集を行い、インフォーマルの整理を行いました。また、地域に出向いた際は同時に介護予防普及啓発活動も実施しました。
きらり☆シニア塾や地域のサロンにも積極的に参加しグループの現状把握や活動の支援も行いました。
スポーツ吹矢とスクエアステップのサークルを立ち上げて自主的な活動に至るまで

支援しました。今後はきらり☆シニア塾に移行できるように支援を継続していく予定です。

担当エリア全域での介護予防連絡会の開催は実施できませんでしたが、部屋利用説明会を開催し、活動内容の発表を行ないケアプラザ内の活動グループの繋がり作りから始めています。今後はそのつながりを拡大できるようにしていきます。

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市岩崎地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	19,782	29,675	149	0	0	0	0
	介護保険収入	0	0	0	7,243	20,566	77,867	4,173
	その他	0	0	0	5	511	9,030	
	自主事業参加費	0	0					
	雑収入	0	0	0	0	0	1,975	
	受取利息配当金	0	0	0	5	0	7	
	認定調査委託料	0	0	0	0	511	0	
	利用者負担金収入	0	0	0	0	0	7,038	
	経常経費寄付金収入	0	0	0	0	0	10	
	収入合計(A)	19,782	29,675	149	7,248	21,077	91,070	
支出	人件費	9,929	22,088	0	4,170	18,962	70,114	
	事務費	1,878	3,389	0	376	1,243	2,476	
	事業費	325	269	143	0	0	6,243	
	管理費	6,258	1,664	0	976	1,704	6,346	
	その他	902	533	0	0	38	9,279	
	施設使用料相当額	0	0	0	0	0	3,990	
	消費税	794	0	0	0	38	0	
	指定管理料戻入額	108	533	0	0	0	0	
	修繕費積立	0	0	0	0	0	789	
	拠点区分間繰入金	0	0	0	0	0	4,500	
支出合計(B)	19,292	27,943	143	5,522	21,947	94,458		
収支 (A)－(B)	490	1,732	6	1,726	-870	-3,388		

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※精算書をベースに作成してください。

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
地域連絡会	①事業者、民生委員	2,400	0	0	0	0	2,400
	②160名						
	③無料						
ケアマネ連絡会	①地域のケアマネジャー	1,250	0	0	0	0	1,250
	②26名						
	③無料						
ゆったりサロン(介護者のつどい)	①地域の介護者の方	15,326	0	0	6,000	0	9,326
	②88名						
	③無料						
キャラバンメイト連絡会	①岩崎認知症キャラバンメイト	0	0	0	0	0	0
	②69名						
	③無料						
認知症サポーター養成講座	①地域住民他	0	0	0	0	0	0
	②143名						
	③無料						
認知症講座	①地域住民他	0	0	0	0	0	0
	②12名						
	③無料						
出張相談	①地域住民他	0	0	0	0	0	0
	②3名						
	③無料						
出張講座	①地域住民他	0	0	0	0	0	0
	②301名						
	③無料						
きゅきゅっと体操	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②28名						
	③無料						
スポーツ吹矢	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②99名						
	③無料						
スクエアステップ	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②31名						
	③無料						
リズムあそび	①未就園児の親子	94,054	0	33,600	72,162	4,660	17,232
	②146名						
	③300円						
ダウン症の会	①ダウン症の子と親	67,529	0	14,200	60,132	0	7,397
	②143名						
	③200円						
イスと体操	①興味のある方	136,139	0	38,900	120,264	0	15,875
	②389名						
	③100円						

平成27年度 自主事業収支報告書

こどもランド	①未就園児の親子	15,265	0	0	0	0	15,265
	②125名						
	③無料						
英語でリズムあそび	①未就園児の親子	33,945	0	10,000	25,055	1,090	7,800
	②77名						
	③300円						
シニア世代対象ハワイアンフ ラダンス講座	①60歳以上の方	49,010	0	20,700	43,410	0	5,600
	②69名						
	③300円						
おしえて幼稚園のこと	①未就園児の親子	0	0	0	0	0	0
	②8名						
	③無料						
夏休み企画 銅版工芸教室	①近隣の小学生	4,336	0	0	3,341	0	995
	②9名						
	③無料						
夏休み企画 リボンレイ講座	①地域の学齢期の方	3,341	0	0	3,341	0	0
	②5名						
	③無料						
リラックスヨガ教室	①地域の40-60代の女性	5,571	0	800	5,011	0	560
	②4名						
	③200円						
区民まつり	①地域住民	390	0	0	0	390	0
	②350人						
	③無料						
プラザまつり	①地域住民	50,691	0	36,150	0	50,691	0
	②250人						
	③模擬店により異なる						
お金マイスター	①近隣の小学生	0	0	0	0	0	0
	②17人						
	③無料						
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	①市内在住65歳以上の方	0	0	0	0	0	0
	②4人						
	③無料						
大人のヨガ教室	①地域住民	5,571	0	1,600	5,011	0	560
	②8名						
	③200円						
部屋利用交流・説明会	①CP活動団体代表者	1,866	0	0	0	0	1,866
	②27名						
	③無料						
たんけんはっけん	①未就園児の親子	1,120	0	0	0	0	1,120
	②78名						
	③無料						
豆腐販売	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②65名						
	③無料						

平成27年度 自主事業収支報告書

ほっとフレンズ夏	①障害者の方	0	0	0	0	0	0
	②30名						
	③無料						
ほっとフレンズ春	①障害者の方	0	0	0	0	0	0
	②71名						
	③無料						
親子でフラダンス～みんなで wa(和)になりおどろろ～	①障害者の方	0	0	0	0	0	0
	②18名						
	③無料						
栄養・口腔講座	①地域住民の方	0	0	0	0	0	0
	②54名						
	③無料						
区民祭り介護予防ブース参 加	①地域住民の方	0	0	0	0	0	0
	②200名						
	③無料						
区内包括支援センター合同 事業ノルディックウォーキン グ	①地域住民の方	0	0	0	0	0	0
	②96名						
	③無料						
		487,804	0	155,950	343,727	56,831	87,246

事業ごとに別紙に記載してください。

平成27年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域連絡会	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と介護保険事業所、区社会福祉協議会、区役所職員を交え地域の課題と取組、また行政の取組を共有する。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守りに対しどのような取組を行い、どのような課題があるのかグループワークを通じて共有する。 ・認知症見守りネットワークの紹介を通じ、認知症の人への見守り活動などを地域の情報等を共有する。 	7月と2月開催 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ連絡会	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアマネジャー、民生委員との連携強化 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加ケアマネジャーさんから、普段のケアマネジャー業務（医療連携、法改正に伴う疑問点、ケアプラン作成等）で日頃感じていること、解らないこと等について意見交換、情報交換を行った。民生委員始めとは、地域連絡会で連携を図った。 	1回開催（11月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったりサロン	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者支援・虐待防止 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者及び介護に関心のある方を対象に、日頃の悩みや情報交換を行うピアサポートの場を提供。ファシリテーター、講師等専門職を招き、15分ほど講義等をして頂き、介護に対する思いを皆で共有する場を提供。また12月は要介護者と介護者が一緒に参加できる場の提供も行った。 	4月～3月 第3木曜日 9回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キャラバンメイト連絡会	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワーク構築 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座打合せ、開催、研修等実施。 ・本陣フレンドシップデー参加 	4月～3月 第2月曜日 10回開催

平成27年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	【目的】 ・認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワーク構築 【内容】 ・認知症サポーター養成講座開催（地域の方々、地域の民生委員、あんしん訪問員対象）	5回開催 （6/29, 11/7, 11/9, 1/20, 2/7）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症講座	【目的】 ・医療機関と連携し介護保険制度や認知症に対する理解を広く地域住民へ普及する。 ・地域ケアプラザ、包括支援センターの役割等の周知 【内容】 ・区内包括支援センターと共催にて、医療機関を開催場所とし、介護保険の制度とケアプラザ等の紹介を行う。 ・医師による認知症の講座	10月開催 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談	【目的】 ・地域ニーズの把握 ・ネットワークの構築 ・個別ケースの抱える問題を早期に発見する関係作り 【内容】 ・地域で行っているカフェを通じて地域住民の生活相談を受け必要な情報の提供や制度につなげる。	15回開催 （6月×1回、7月×1回、9月×2回、10月×2回、11月×3回、12月×2回、1月×2回、2月×2回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座	【目的】 ・地域ニーズの把握と情報提供。支援ネットワークの構築と顔の見える関係作り ・介護予防、介護保険制度、権利擁護等の周知、普及啓発 ・包括支援センターの役割の周知など 【内容】 ・自治会、町内会、老人クラブ各種団体等を対象にニーズに応じた講座を行い、情報提供、及び情報収集を行う。	7回開催 （5/22 5/31 6/26 6/27 9/27 9/30 2/28）

平成27年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きゅきゅっと体操	【目的】 介護予防普及・啓発。骨盤底筋を鍛えることによって姿勢の改善や尿失禁の予防を高めることを目的とする。 【内容】 尿失禁予防体操の実施	5月、2月に開催。2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポーツ吹矢	【目的】 介護予防普及・啓発。スポーツ吹矢をとおし、集中力や心肺機能の維持向上を目的とする。 【内容】 スポーツ吹矢活動支援および実施。	4月から9月まで 毎月第2・4水曜に開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップ	【目的】 介護予防普及・啓発。脳トレを兼ね、集中力や転倒予防を高めることを目的とする。 【内容】 スクエアステップの講習および実施。	2回開催（6/30、7/31）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リズムあそび	【目的】 リトミックを通じ、季節を感じながら親子の時間を大切に過ごしてもらうことを目的とする。 【内容】 講師の先生をお呼びし親子でリトミックを実施。 幼稚園、保育園に向けて集団行動の体験を実施。	9回開催（H27.5月～H28.3月）

平成27年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ダウン症の会	<p>【目的】 障がいを抱えても安心して生活できるための居場所作りや情報交換の場としても活用していただくことを目的とした。</p> <p>【内容】 ダウン症の親子を対象に講師の先生をお呼びし親子でヒップホップダンスを踊る。プラザまつりや地域の施設でのダンス発表も行った。</p>	毎月1回 12回実施 (H27.4月～H28.3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イスと体操	<p>【目的】 立位保持が難しい高齢者を対象にした事業であり、座ったままできる体操を実施する機会を設けることで、自宅でも気軽にできることを目的にした。</p> <p>【内容】 イスに座ったまま行える体操を実施。 タオルを使用した体操でリラクゼーションを行った。</p>	毎月2回 24回開催 (H27.4月～H28.3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもランド	<p>【目的】 親子での居場所作りを提供するとともに、子育てに対しての不安解消、心身のリラックスを図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 月1回のフリースペースをメインに、季節に合わせた行事を行った。</p>	毎月2回 24回実施 (H27.4月～H28.3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
英語でリズムあそび	<p>【目的】 英語を使用することで普段の生活との変化をもたらすことを目的とする。</p> <p>【内容】 未就園児を対象にしたリズムあそびを実施。乳幼児を対象に英語を肌で感じてもらうことができた。</p>	5回開催 (4月15日、5月20日、8月19日、10月21日、12月16日)

平成27年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア世代対象 ハワイアンフラ ダンス講座	<p>【目的】 ハワイアン音楽をかけながらダンスを踊る事によって気分転換、体力維持を図ることを目的とした。またシニア世代の方々の交流の場としても視野にいれ事業を展開した。</p> <p>【内容】 シニア世代の方々を対象にしたフラダンスを実施し、交流の場としても活用して頂いた。</p>	10回開催（5月29日、6月17日、7月18日、7月31日、9月16日、10月30日、11月18日、2月19日、3月16日、3月30日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おしえて幼稚園 のこと	<p>【目的】 近隣の幼稚園の卒園生のお子様を持つお母様から実際の幼稚園の様子や状況を聞くことができる場を設ける事を目的とした。</p> <p>【内容】 先輩のお母様から幼稚園の様子や現状を聞くことができた。</p>	1回開催（7月10日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み企画銅板 工芸教室	<p>【目的】 夏休みの課題を早期に終わらせる機会として実施することで保護者に安心感を持ってもらうと共に、他学年や他校の子どもたちの交流の場として提供する。</p> <p>【内容】 講師、プラザ活動団体を呼び小学生を対象にした銅版工芸教室で作品を作成した。また講師やボランティアの方との交流も行った。</p>	1回開催（8月6日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み企画リボ ンレイ講座	<p>【目的】 夏休みの課題を早期に終わらせる機会として実施することで保護者に安心感を持ってもらうとともに、他学年や他校の子どもたちの交流の場として提供する。高齢者の方と学齢期の子どもたちの交流の場としても活用する。</p> <p>【内容】 講師および活動団体の指導のもと、リボンを編みこみ作品を作った。</p>	1回開催（8月20日）

平成27年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リラックスヨガ教室	<p>【目的】 地域の30～50歳代の女性をターゲットとし、ヨガを通じて日頃のストレスを解消できることを目的とする。また中間層の方々にケアプラザに来てもらうきっかけにすることでケアプラザの周知を図る。</p> <p>【内容】 リラクゼーションヨガの実施</p>	1回開催（10月21日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区民まつり	<p>【目的】 区民が多数来場する「区民まつり」に区内7つのケアプラザのコーディネーターと保土ケ谷区役所が参加し、地域にとって親しみが持て、身近な施設であることを理解していただけるように周知できる場とする。</p> <p>【内容】 福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行った。来場者に声をかけ、自分のエリアのマップにお薦めの場所などを記入してもらった。マップは、各ケアプラザの職員が自分のエリアのものを作成し、当日もマップのそばで案内することで、来場者と該当エリアにあるケアプラザの職員が直接コミュニケーションを図れるよう工夫した。 その他、該当エリアにあるケアプラザのチラシを配布したり、景</p>	1回開催（10月17日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラザまつり	<p>【目的】 こどもから高齢者までのすべての年代を対象にしたお祭りを実施することで当ケアプラザの周知をしていくことを目的とした。</p> <p>【内容】 ケアプラザの職員が主体となった模擬店、イベントを行う事によって地域住民との顔の見える関係作りを構築し、ボランティアの方にも協力をしてもらう事で地域へ向けてケアプラザの周知を図った。</p>	1回開催（11月22日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お金マイスター	<p>【目的】 小学生を対象にお金の使い方を考えてもらうことで、お金の大切さを伝えると共に、地域ケアプラザを知ってもらうきっかけにする。</p> <p>【内容】 カードゲームを通じてお金の成り立ちを知り、物々交換を行う。</p>	1回開催（1月7日）

平成27年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	【目的】 市内在住の65歳以上の方を対象にシニアボランティアポイント研修会を実施し、活動に繋がるきっかけを作る。 【内容】 シニアボランティアポイントの概要・ボランティアとは？・ボランティアの種類などの講義を実施。	1回開催 (2月19日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のヨガ教室	【目的】 体の柔軟性を保ち、リラックス効果と健康増進を目指すことやヨガを通じて日頃のストレスを解消できることを目的とする。また中間層の方々にケアプラザに来てもらうきっかけにすることでケアプラザの周知を図る。 【内容】 リラクゼーションヨガの実施	1回開催 (3月2日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
部屋利用交流・連絡会	【目的】 部屋利用をされている方に登録更新・部屋利用の方法・変更点を報告する。また団体間の交流を図り、今後の地域活動に向けての意欲向上を図る。 【内容】 登録更新や部屋利用の方法などを部屋利用の手引きを用いて説明。交流会も兼ねて各活動の年間の活動報告等を発表していただく。	1回開催 (3月14日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豆腐販売	【目的】 とうふ工房と連携することによって地域とのつながりや社会経験を生み出すことを目的とした。 【内容】 とうふ工房による豆腐の販売を実施した。	5回開催 (9月24日、11月20日、12月15日、2月24日、3月30日)

平成27年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ夏	<p>【目的】</p> <p>①学校と家庭の往復になりがちな障害児に対して「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。②障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。④関係機関及び団体との協力関係を深め、区内のケアプラザが障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように努める。</p> <p>【内容】</p> <p>保土ヶ谷区内小学生～高校生の障がい児を対象。余暇活動するに当たり事前に研修、顔合わせを行う。当日、参加者はボランティアとペアになり行動。春祭りとは猿回しを実施した。 (保土ヶ谷区役所・保土ヶ谷区社会福祉協議会・区内7ケアプラザ・保土ヶ谷養護学校・地域活動ホームゆめ・すみれ園・希望の家共催事業)</p>	1回開催 (8月2日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ春	<p>【目的】</p> <p>①学校と家庭の往復になりがちな障害児に対して「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。②障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。④関係機関及び団体との協力関係を深め、区内のケアプラザが障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように努める。</p> <p>【内容】</p> <p>保土ヶ谷区内小学生～高校生の障がい児を対象。余暇活動するに当たり事前に研修、顔合わせを行う。当日、参加者はボランティアとペアになり行動。春祭りとは猿回しを実施した。 (保土ヶ谷区役所・保土ヶ谷区社会福祉協議会・区内7ケアプラザ・保土ヶ谷養護学校・地域活動ホームゆめ・すみれ園・希望の家共催事業)</p>	1回開催 (3月27日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でフラダンス！～みんなでwa(和)になりおどろう～	<p>【目的】</p> <p>① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、新たな出会いの場、生活経験を拡大できる場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供する。 ② 関係諸学校及び関係諸団体の協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となれるように継続的に努める。 ③ 本事業の周知や報告、及び地域のボランティアを募集する事で、障がい福祉に対する理解をより深めてもらう一つの機会とする。</p> <p>【内容】</p> <p>親子でフラダンスを楽しむ機会を提供した。 車いすの参加者が半数、全員男子であったが、講師の指導を熱心に見つめ、母親と一緒にフラダンスを楽しんでいた。3歳児の兄弟児には、おもちゃスペースをつくり、スタッフが対応。またプアメリアの小学生女子も一緒におもちゃスペースで。布おもちゃや積み木などを楽しんでいた。ダンスのあとは、お茶会で交流。保護者同士がメールアドレスを交換したり、講師の活動について問い合わせをするなど、積極的な交流ができていた。</p>	1回開催 (2月14日)

栄養・口腔講座	<p>【目的】</p> <p>高齢者から子どもまで口腔ケアや栄養に関することに対し、関心を持ってもらうことを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>プラザまつりの一角を使用し、栄養・口腔講座を実施。子供から高齢者が楽しめるような内容にし、専門職を配置することで、参加者も気軽に相談できるように努めた。</p>	1回開催 (11月22日)
---------	--	---------------